

日本アジア投資株式会社 2017年3月期 期末 決算補足資料

決算発表日：2017年5月15日

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準、または、従来連結基準)にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 2017年3月期の実績(従来連結基準)	P4
3. 今後の経営方針	P25
4. 2018年3月期の計画(従来連結基準)	P35
5. 参考情報	P39

1. 総括

1. 2017年3月期実績(従来連結基準)

- － 経常利益19%増、2期連続最終黒字達成
- － メガソーラープロジェクトからの収益が、その他の収益減少をカバー
- － 投資資産の入替に伴い投資損失引当金繰入額が減少

2. 今後の経営方針

- － プライベートエクイティ事業：当社出資比率を抑え、ファンドで事業規模拡大
First Eastern社とのファンド設立
- － 再生可能エネルギー事業：売却と新規投資を並行し一定の規模を維持
固定買取価格低下への対応
- － 新規事業：第3の収益の柱となるその他事業を開拓

3. 2018年3月期見込(従来連結基準)

- － 3期連続最終黒字を目指す
- － 未上場企業の株式売却とメガソーラープロジェクトの売却による収益が中心

2. 2017年3月期の実績（従来連結基準）



業績数値

ハイライト.....	P5
営業総利益の内訳.....	P7
業務別 詳細.....	P8
販管費.....	P12
負債.....	P13
CF（ファンド連結基準）.....	P14

2. 2017年3月期の実績-ハイライト P/L・実行額（従来連結基準）



	2016/3期実績		2017/3期 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
営業収益	4,043	100%	3,926	100%	△3%
営業原価	2,488	62%	1,750	45%	△30%
営業総利益	1,554	38%	2,176	55%	40%
販管費	1,472	36%	1,339	34%	△9%
営業利益	82	2%	836	21%	913%
経常利益	612	15%	726	19%	19%
親会社株主に帰属する 当期純利益	597	15%	553	14%	△7%

メガソーラー
プロジェクトからの
収益が他の収益
減少をカバー

評価損・引当金
繰入額の合計が
約3億円減少

**2期連続
黒字達成**
引当金の減少により
業績見込値を上回る

ファンド設立額	5,201	-	500	-	△90%
投資実行高	4,093	-	4,315	-	5%

2. 2017年3月期の実績-ハイライト B/S・残高（従来連結基準）



	2016/3期末実績		2017/3期 実績		
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減率
現預金	8,202	36%	6,213	31%	△24%
営業投資有価証券 (再生可能エネルギー、他)	3,722	16%	4,082	20%	10%
営業投資有価証券 (プライベートエイクイティ 引当後)	8,226	36%	7,356	36%	△11%
総資産	22,680	100%	20,305	100%	△10%

再生可能
エネルギー
投資残高の増加

ピーク時から7割超削減
(2017年4月末残高
126億円)

借入金・社債残高	16,910	75%	14,128	70%	△16%
自己資本	4,976	22%	5,686	28%	14%

新株予約権の
行使と黒字化に
より増加

ファンド運用残高	39,335	-	28,753	-	△27%
投資残高	18,783	-	16,558	-	△12%

2. 2017年3月期の実績-営業総利益の内訳(従来連結基準)



(単位: 百万円)		12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率 (%)
1.	投資事業組合等管理業務							
	営業収益	1,050	852	865	634	729	466	△36%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	1,050	852	865	634	729	466	△36%
2.	投資業務							
	営業収益	4,183	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4%
	営業原価	4,964	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	△30%
	営業総利益	△780	△880	1,468	203	818	1,690	106%
3.	その他							
	営業収益	162	229	154	53	13	25	96%
	営業原価	35	25	15	9	7	6	△14%
	営業総利益	126	204	139	44	5	19	227%
合計								
	連結営業収益	5,396	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	△3%
	連結営業原価	4,999	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	△30%
	連結営業総利益	396	176	2,474	882	1,554	2,176	40%

**投資業務営業総利益
+8.7億円(+106%)増加**

2. 2017年3月期-業務別詳細 投資業務

投資業務 営業総利益内訳 (従来連結基準)

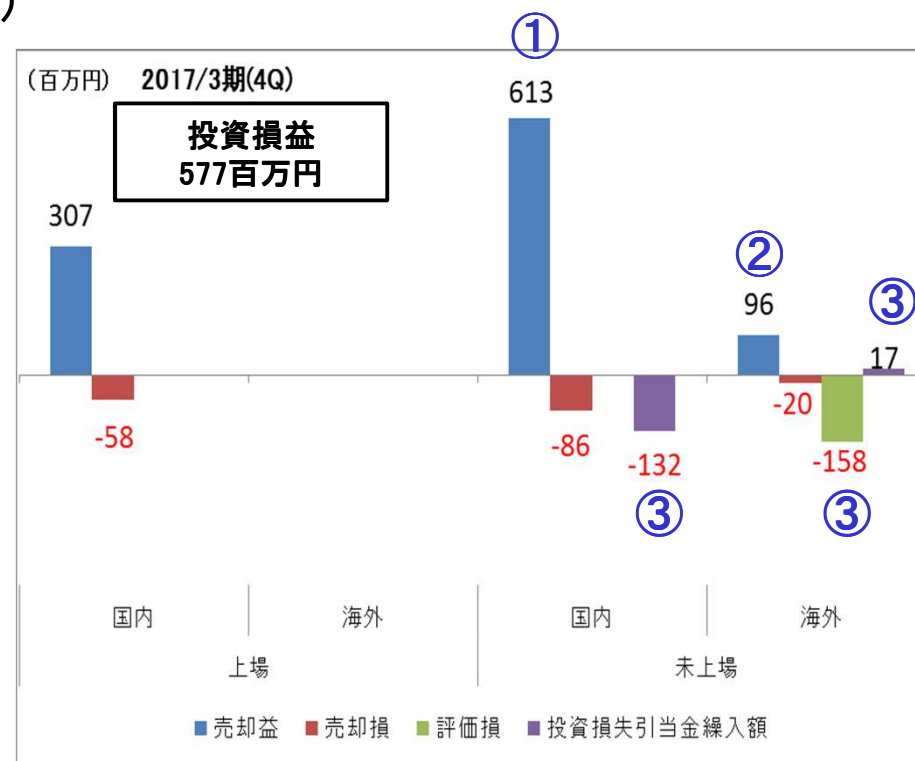
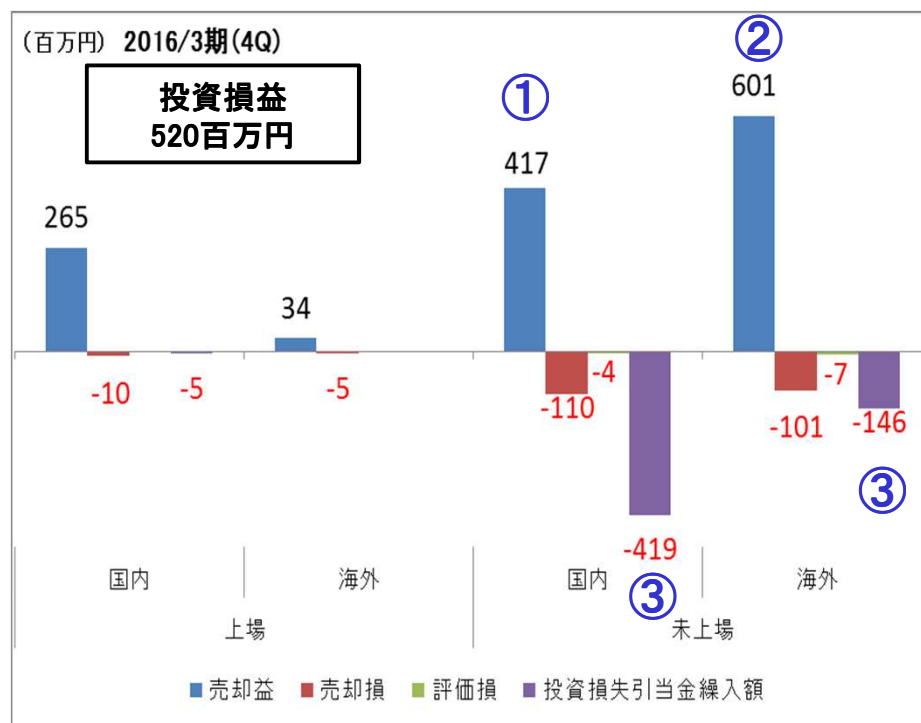
単位:百万円	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率 (%)
投資業務							
営業投資有価証券売却高	3,938	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	△23%
利息・配当収入	181	95	121	93	49	30	△38%
組合持分利益等	63	194	357	100	295	1,128	281%
営業収益	4,183	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4%
営業投資有価証券売却原価	3,412	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	△24%
営業投資有価証券評価損	394	174	45	1,233	10	159	1380%
投資損失引当金繰入額	978	1,863	1,435	471	559	115	△79%
組合持分損失等	178	158	52	168	47	46	△2%
営業原価	4,964	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	△30%
営業総利益	△780	△880	1,468	203	818	1,690	106%
実現キャピタルゲイン(売却高△売却原価)	526	1,025	2,523	1,883	1,090	852	△22%
投資損益(実現CG△評価損△引当)	△846	△1,012	1,042	178	520	577	11%

- ①② 売却高や実現CGは、海外未上場銘柄の大型売却が無く、減少
- ③ 資産の入れ替えが進み、引当金や評価損の損失処理が一巡
- ④ 投資損益は前期並みを維持
- ⑤ 組合持分利益等のうち7.7億円がメガソーラープロジェクト売却益、2.1億円が売電収益等、1.5億円が他社の運営ファンドの持分利益

2. 2017年3月期の実績-業務別詳細 投資業務 投資損益内訳

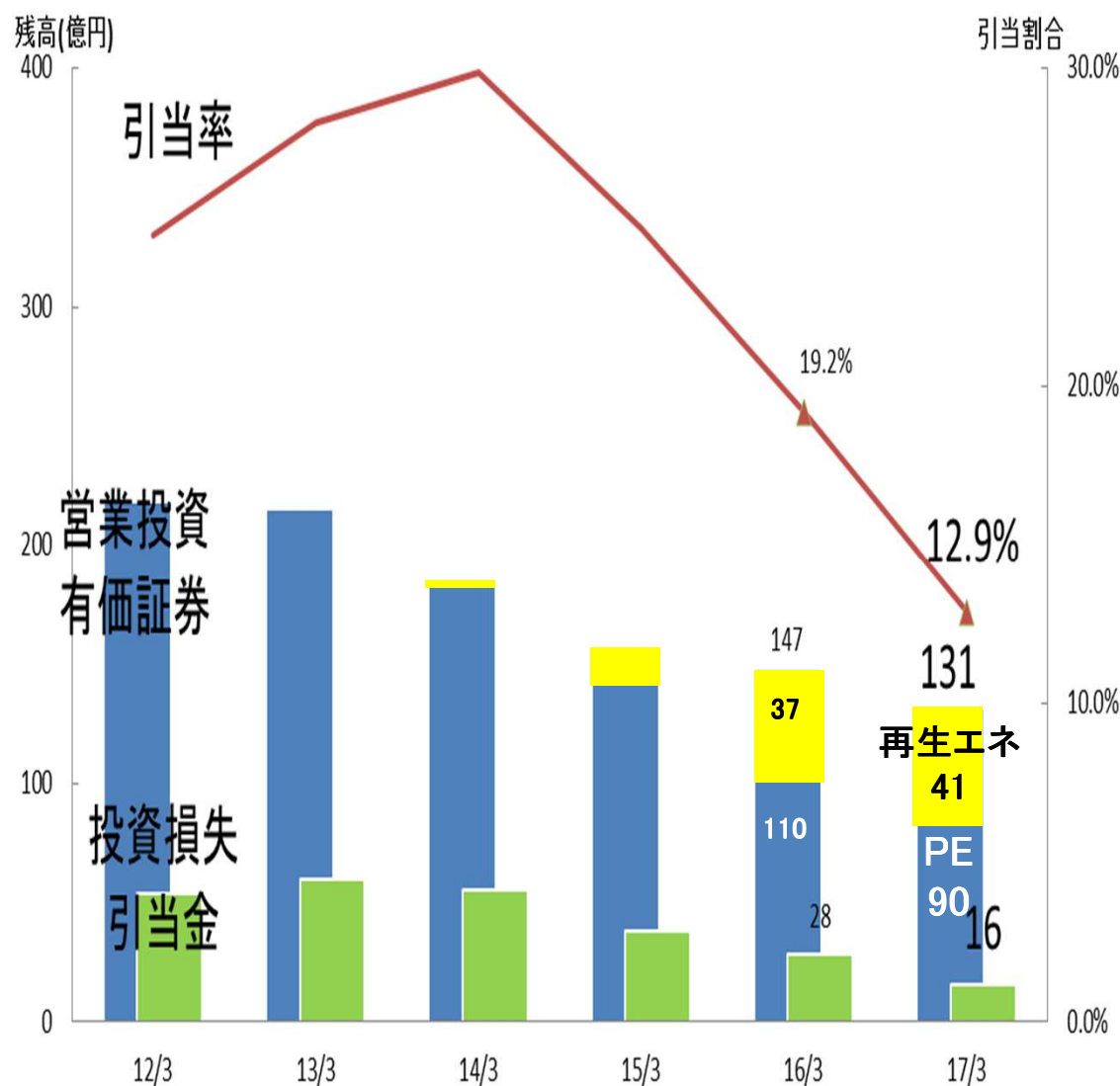


投資業務 投資損益内訳 (従来連結基準)



- ①国内未上場の売却益 → ファンド満期に伴う売却進捗
- ②海外未上場の売却益 → 大型の売却無く、大幅減少
- ③未上場の評価損・引当繰入額 → 資産入替により減少

2. 2017年3月期の実績-業務別詳細 投資業務 引当率(従来連結基準)



資産の入替進捗

引当率低下

2. 2017年3月期の実績-業務別詳細 投資事業組合等管理業務



・ファンド 新規設立・運用残高 推移

(単位:百万円)	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率
ファンド設立・資産増加額	11,926	4,548	-		5,201	500	△90%
ファンド運用残高	85,833	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	△27%
うち 当社グループ出資額					14,004	9,427	△33%

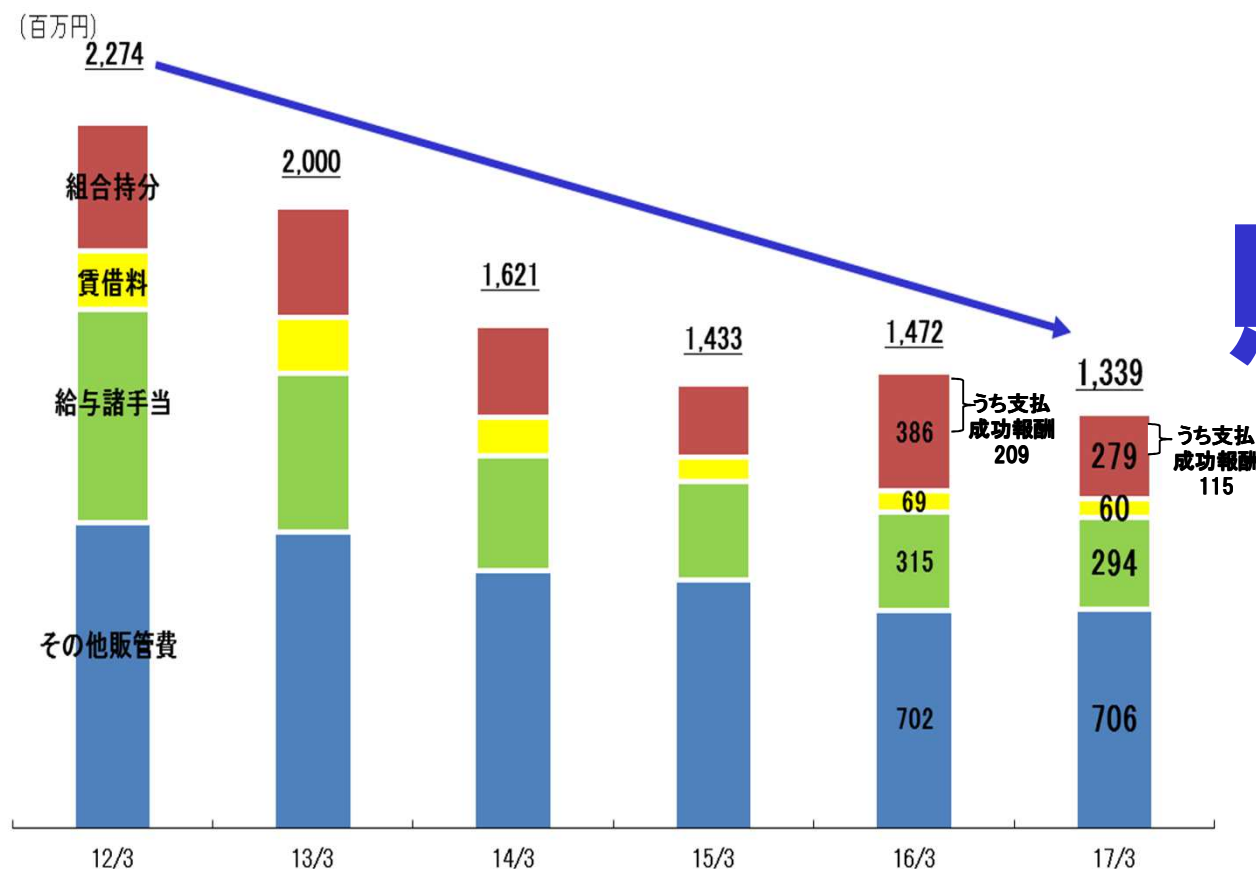
- ファンドの新規設立目標は未達
- ファンドの満期到来により、運用残高が減少

・組合運営報酬 推移 (従来連結基準)

(単位:百万円)	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率(%)
組合運営報酬 合計	1,050	852	865	634	729	466	△36%
うち 管理報酬等	966	815	733	571	441	364	△17%
うち 成功報酬	84	37	132	63	288	101	△65%

ファンド運用残高の減少に伴い、管理報酬等が減少

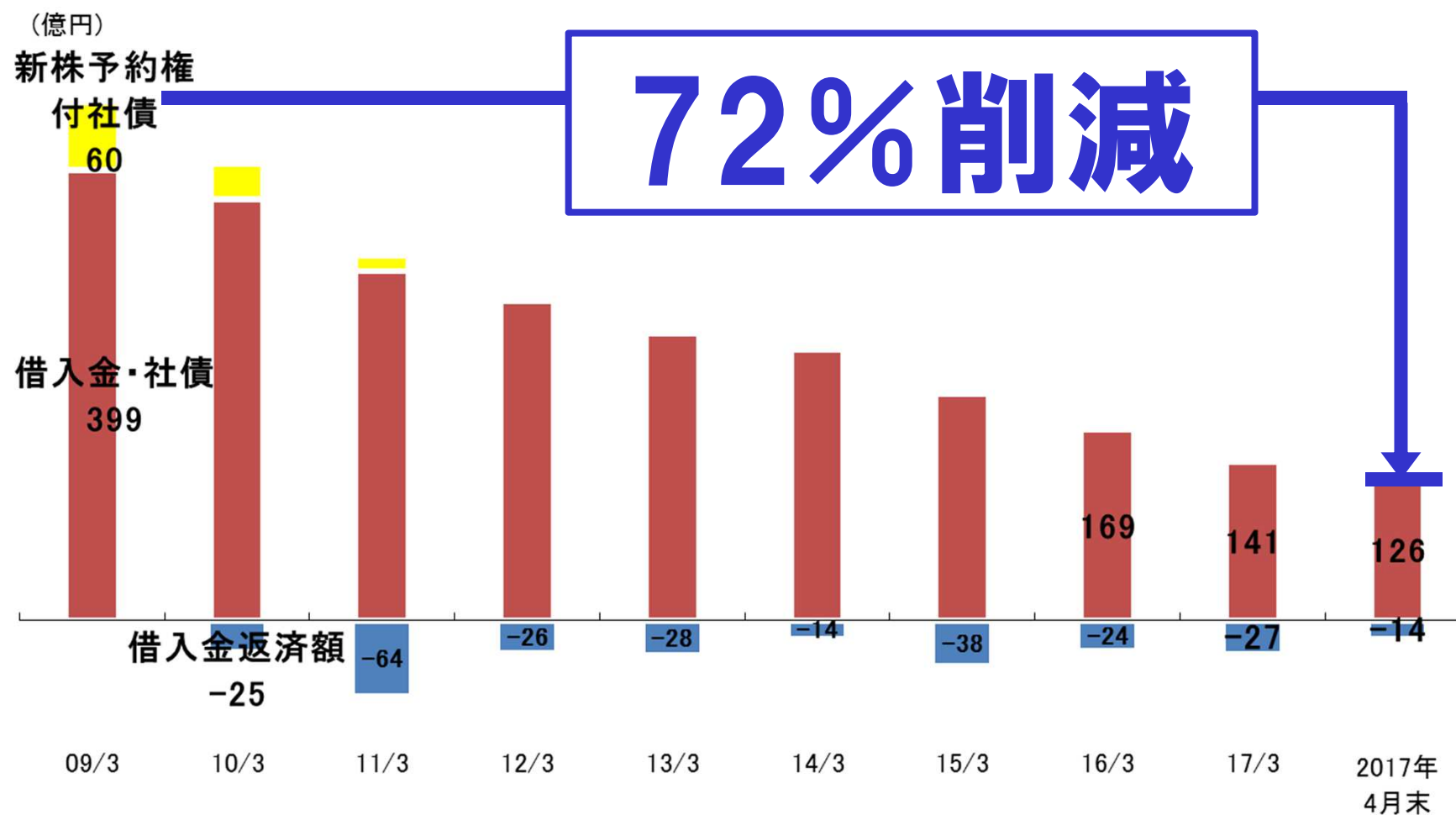
2. 2017年3月期の実績-販管費(従来連結基準)



**販管費は
着実に
削減**

		12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3
従業員数	連結	109	80	46	45	43	44
	単体	66	42	23	25	23	23

2. 2017年3月期の実績-負債(従来連結基準)



2. 2017年3月期の実績-CF(ファンド連結基準)



(単位:百万円)	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率(%)	
営業活動によるCF	738	1,196	3,624	511	974	1,406	44%	①
投資活動によるCF	396	277	437	213	470	△5	-	
財務活動によるCF	△4,056	△2,838	△1,424	△3,224	△1,404	△2,469	-	②
CF増減額	△2,948	△1,259	2,758	△2,371	△26	△1,100	-	
期末残高	6,813	5,554	8,313	5,942	5,915	4,815	△19%	

① 営業活動によるCF 増加要因

→ 投資回収の進捗に伴い、ファンドからの分配金が増加

② 財務活動によるCF 減少要因

→ 借入金返済増加、予約権行使終了による入金減少

2. 2017年3月期の実績



営業活動

期初計画の進捗状況・・・・・・・・・・	P16
メガソーラー投資事業・・・・・・・・・・	P17
プライベートエクイティ投資事業・・・・・	P19

2. 2017年3月期の実績 - 期初計画の進捗状況



国内投資の 更なる推進

- ・ 国内投資実行: 12社、5.5億円
- ・ 新規ファンド設立目標は未達。国内大手金融機関と交渉継続中

First Easternとの 協業推進

- ・ 新規ファンド設立交渉は、条件折り合わず長期化
- ・ ファンドやその他の協業策を広く協議中

再生可能エネルギー 投資拡大

- ・ 既存プロジェクト含め 17件、32億円投資実行
- ・ 2017年3月末投資プロジェクト: 23件、113.8MW(うち当社持分相当 67.0MW)

既存ポートフォリオの Value Add(VA)

- ・ 顧客候補先紹介、資金調達交渉、中国企業子会社化支援を実施
- ・ ビジネスマッチングのイベント「経営者倶楽部」開催
- ・ 新規上場5社

売却益の獲得

- ・ ファンド満期や新規上場に伴い国内で株式売却が進捗
- ・ 5件、17.7MWのメガソーラープロジェクトの売却を実現
- ・ プライベートエクイティ事業で第4四半期に見込んだ売却は翌期へ

期中売電開始 6件、合計11.2MW



愛知県 常滑市 2.3MW
2016年8月 売電開始



三重県 亀山市 1.3MW
2016年12月 売電開始



茨城県つくばみらい市
2.3MW
2017年3月 売電開始



岩手県 一関市 藤沢町
約2.3MW
2016年10月 売電開始

三重県 伊勢市 柏町
2件、合計3.0MW
2016年12月 売電開始

期中売却 5件、合計17.7MW (うち当社出資持分16.6MW)

2. 2017年3月期の実績 - メガソーラー投資実績 一覧



売電中 7件 13.5MW

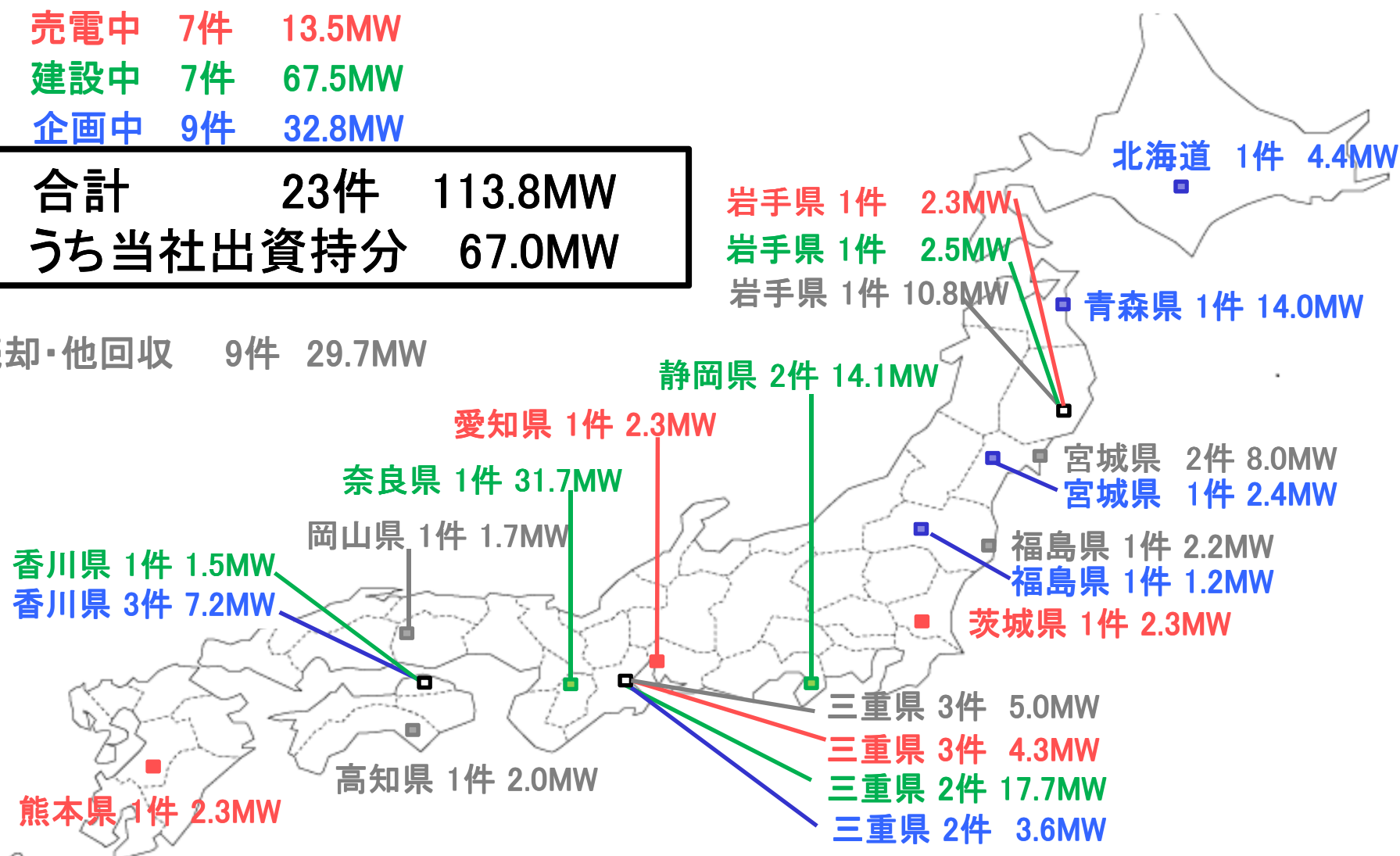
建設中 7件 67.5MW

企画 9件 32.8MW

合計 23件 113.8MW

うち当社出資持分 67.0MW

売却・他回収 9件 29.7MW



※1 RJAエネルギー投資事業有限責任組合からの投資分を含めております。

※2 各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

国内 12社、5.5億円

ワンダープラネット(株)
『クラッシュフィーバー』等の
フルネイティブアプリ・ゲーム



プラスワン・マーケティング(株)
 FREETEL
『FREETEL』のSIMフリー端末、MVNO

(株)J-ARM



ペット向け細胞治療・再生医療導入支援

(株)ピー・ビーシステムズ 
参加型VRシアター「4D王」

MTES(株)



IoTによるエアコン制御システム

ラクサス・テクノロジーズ(株)  Laxus
高級ブランドバッグシェアリングサービス

(株)グローバルトラストネットワークス

外国人に特化した家賃保証等



FacePeer(株)

法人向けビデオチャットプラットフォーム
『FaceHub』



他、セカンダリー案件4社

海外 4社、5.8億円

瀋陽格冠科技発展有限公司



中国瀋陽市の中小病院・民営病院向け
経営管理システムのクラウドサービス

Polydice, Inc.



台湾No.1オンラインレシピメディア
「愛料理」(<https://icook.tw/>)の運営

天津安科運達航空服務股份有限公司



航空会社と旅行会社間の独立中間
プラットフォームとしての航空チケット
販売

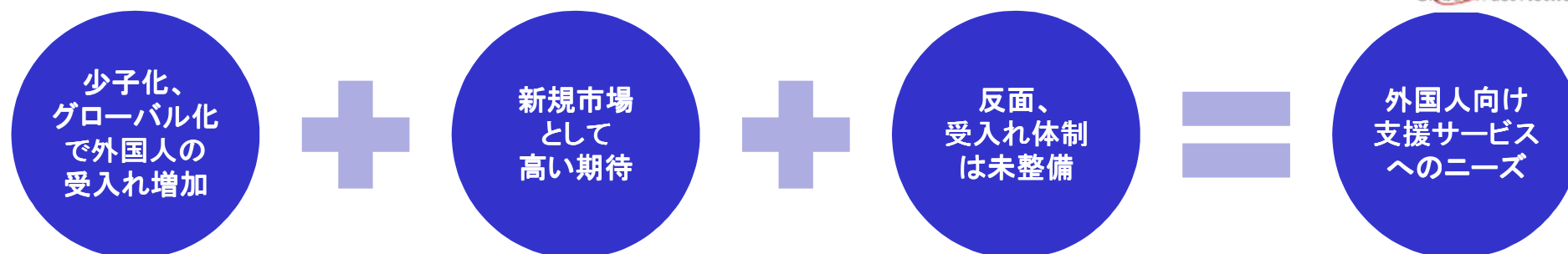
瀋陽邁思医療科技有限公司



医療機器(呼吸器・酸素発生器)の
開発・製造・販売

(株)グローバルトラストネットワークス

～日本に暮らす外国人の住環境をトータルサポート～



【外国人の不動産賃貸をトータルサポート】

【外国人専門を強みに事業拡大】

賃貸住宅総合サイト



家賃保証



生活サポート



- 保証人がいない、言葉が通じない、文化の違いによるトラブル懸念 などの問題を解決
- 入居者・不動産オーナー・管理会社、それぞれから信頼獲得



FacePeer(株)



～法人向けビデオチャットプラットフォーム『FaceHub』～



・面倒なアプリのインストールやアカウントの取得は不要、1クリックで簡単に利用できる

・会話内容の管理監視や録画録音、音声の自動文字起こしなどの豊富な機能を搭載

導入事例(トライアル含む)

・(株)IDOM(旧ガリバーインターナショナル):
対面型オンライン中古車査定

・(株)ケイ・オプティコム、(株)うるるBPO:
映像通訳サービス「クラウド通訳」を
3社連携で開発

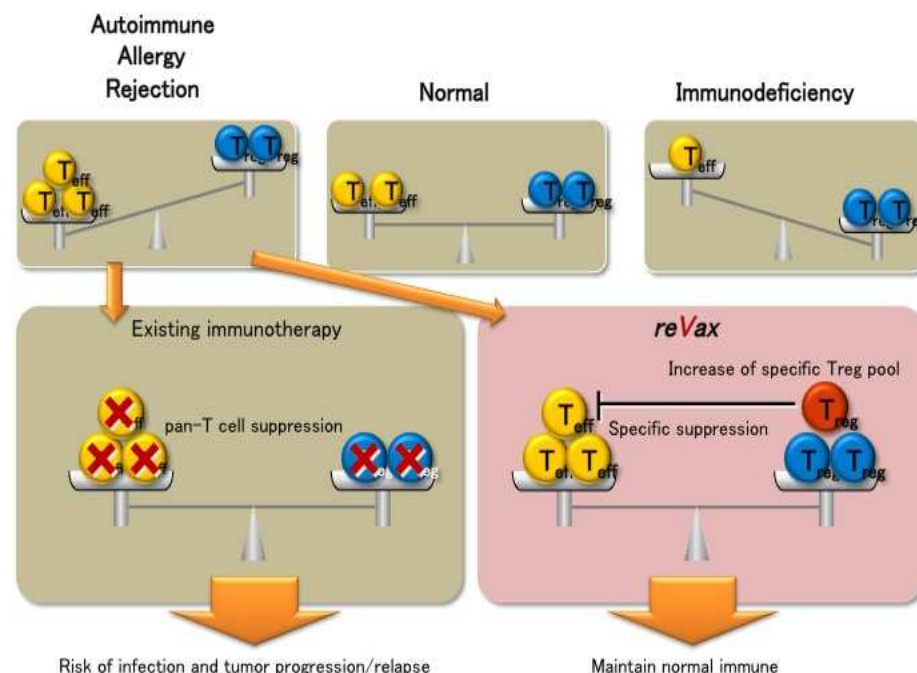
・三井住友海上火災保険(株):
スマホによる事故発生時の損害調査

・「1対1」の通信はもちろん、「1対多」
「多対多」の複数人での通信にも対応

・5社から総額2億円の資金調達に成功
⇒ JAICは、主要投資家として、追加投資の
実施と共に事業会社や政府系金融機関の
紹介を行い、資金調達を支援

(株)レグイミューン REGIMMUNE

～独自技術による免疫制御剤の創薬ベンチャー～



独自の免疫抑制技術「reVax」は
制御性T細胞「Treg」を選択的に増加させ、
自分自身の正常な細胞や組織に対しても
過剰に反応してしまう免疫だけを抑制する

・既存の免疫抑制剤のデメリット：
免疫システム全体の活動を抑制
⇒ 感染症や癌進行などの副作用リスク

・独自技術「reVax」：
免疫制御細胞を選択的に増加
⇒ 好ましくない免疫反応だけを抑制可能

・治療薬「RGI-2001」：
白血病の治療時に生じる合併症治療薬
2018年前半、臨床試験Phase II b開始予定
⇒ JAICは、主要投資家として、開発資金の調達を支援、2017年4月に実現

・治療薬「RGI-3100」：
自己免疫疾患であるI型糖尿病の治療薬
動物モデルで良好な試験結果
早期の臨床試験開始を目指す

2. 2017年3月期の実績 - 投資先企業のExit事例



リファインバース(株)



2016年7月28日 東証マザーズ上場

(株)フェニックスバイオ



セカンダリー投資案件 投資後5か月でIPO

シグマメルテック(株)



バイアウト案件 新オーナーへ譲渡

瀋陽銳易特軟件技術有限公司



中国瀋陽市の案件 親会社への譲渡

WASHハウス(株)



2016年11月22日
東証マザーズ・福証Q-Board上場

(株)エルテス



2016年11月29日 東証マザーズ上場

(株)ネットマーケティング



2017年3月31日 JASDAQスタンダード上場

セカンダリー案件 1社

投資後1か月で上場企業と株式交換

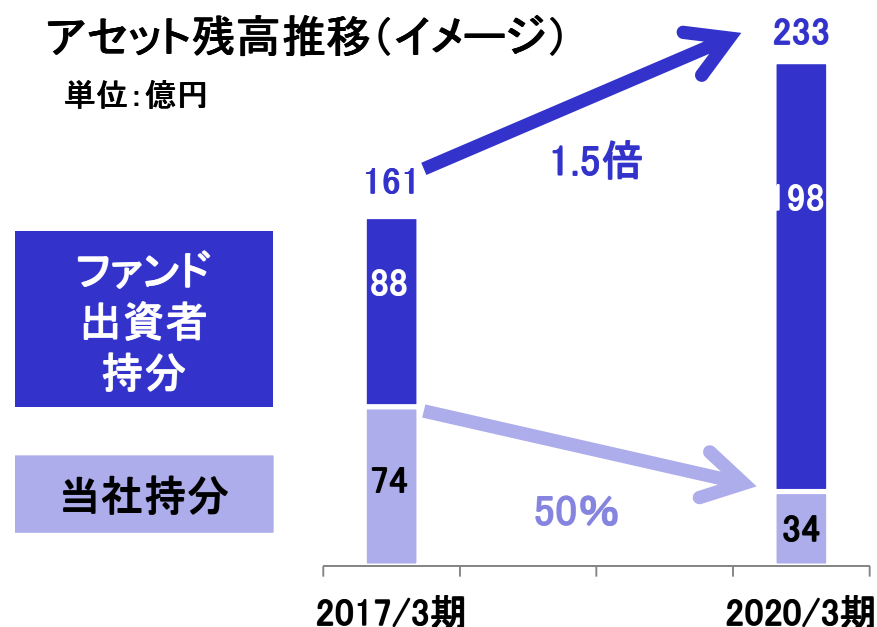
3. 今後の経営方針



目指す姿・・・・・・・・・・・・・・・・	P26
プライベートエクイティ事業・・・・・・・・	P27
再生可能エネルギー事業・・・・・・・・	P29
新規事業・・・・・・・・・・・・・・・・	P31
収益構造(従来連結基準)・・・・・・・・	P33
財務バランス(従来連結基準)・・・・・・・・	P34

- 現在の日本は、少子高齢化による問題を抱え、社会・経済のパラダイムシフトに直面
- 今後の、日本とアジアの持続的成長には、イノベーションによる、安心・安全で、質と生産性の高い社会の実現が不可欠
- 日本の歴史ある投資会社、アジアとの長い繋がりのある投資会社として、様々な分野でアジアとの繋がりを重視し、投資活動を展開することで、日本の経済・社会とアジアの発展に貢献する。

- 当社の基幹事業であるプライベートエクイティ事業を通じて、企業のイノベーション創造に貢献する
- アジアとの交流や連携を通じて、外生的な成長機会を獲得する



- 事業規模拡大:
事業全体のアセット残高を1.5倍に拡大
- 財務リスクの抑制:
当社の出資持分の残高は、現在の50%まで圧縮
- ファンド設立:
ファンド設立により投資資金を確保

国内プライベートエクイティ投資の投資領域拡大

JAIC

ベンチャー投資で培ったValue Addのスキル
IPO後の投資先との信頼関係

発行会社

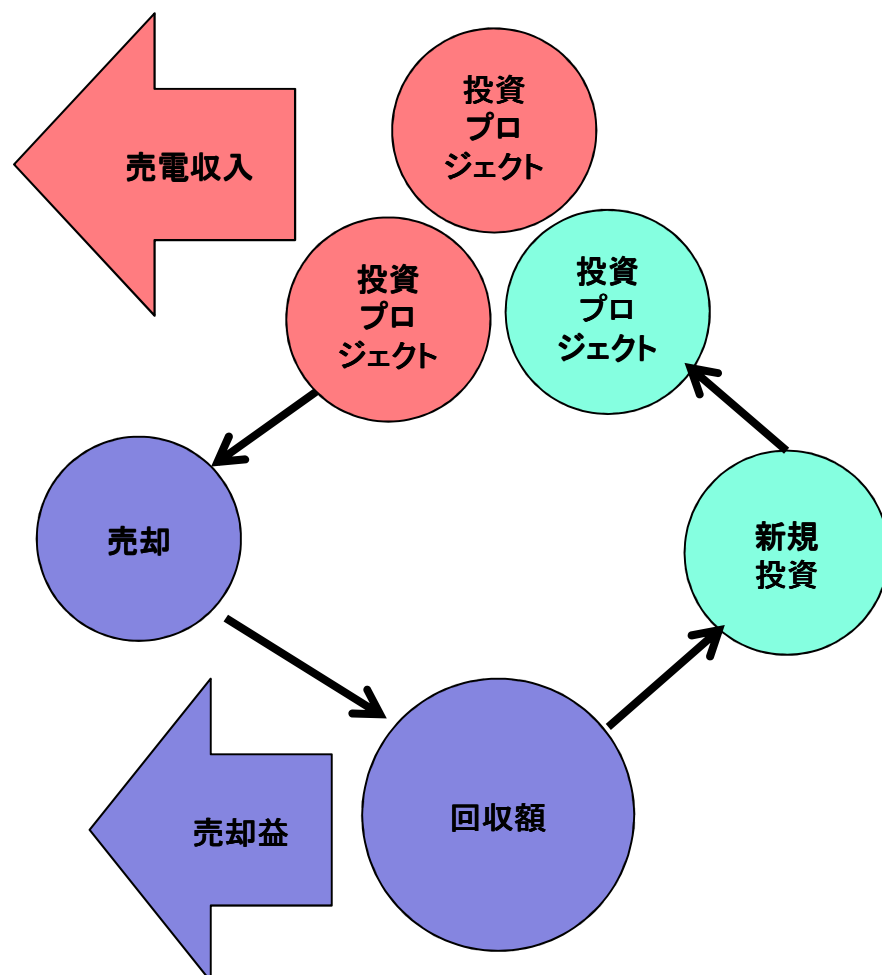
投資家に対し
資金 + α の支援を期待

スモール
キャップ
グロース・
事業承継型
バイアウト

ファンド出資者

ミドルリスク・ミドル
リターンの資金運用
ニーズ

- 再生可能エネルギーの拡大により、 安心・安全な社会のインフラ整備に貢献する



プロジェクト売却の効果

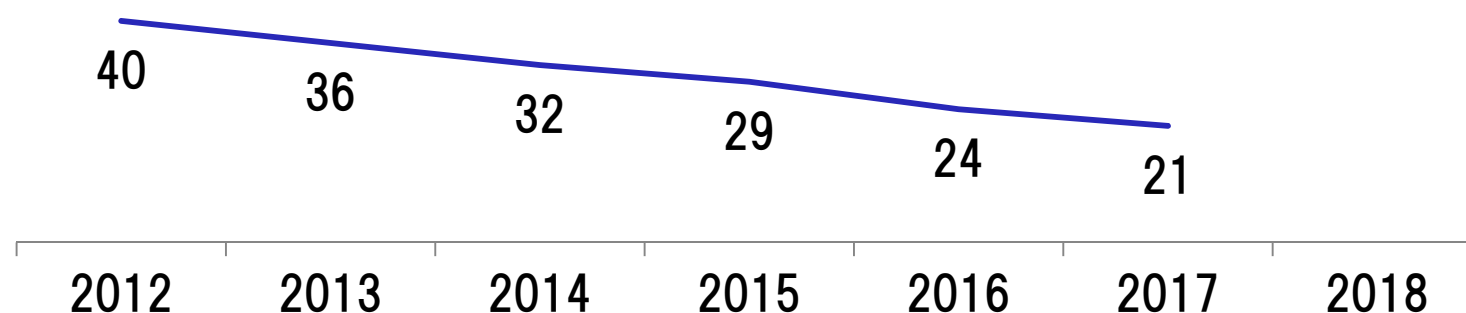
- 早期に利益・投資資金を回収し
その回収資金で新規投資することで、資金効率・収益性を追求
- 期間収益の安定化

今後の売却方針

- 売却と新規投資を並行して行い
一定の投資規模を維持
- 各期の収益動向や、新規
プロジェクトへの投資資金の
需要を勘案して売却規模を決定

- 低下する買取価格への対応策

太陽光の固定買取価格推移



香川県さぬき市
野間池ソーラー発電所

30円台の案件へ積極投資

低コストの
開発方法研究

買取価格20円台
案件を選別投資

風力、バイオマス
への試験的投資

他の再生可能
エネルギープロジェクト
への投資

－ 第3の収益の柱となる新規投資事業の立ち上げ



2016年9月に投資実行した
複合型高齢者施設
「勝どき駅前複合ビル」

－ 複数案を検討中

- ✓ 介護施設への投資
- ✓ 当社周辺事業のM&A
etc

－ 個別事例を積み上げる

- ✓ 介護施設の1号案件
は5月に完工予定
早期の売却を目指す

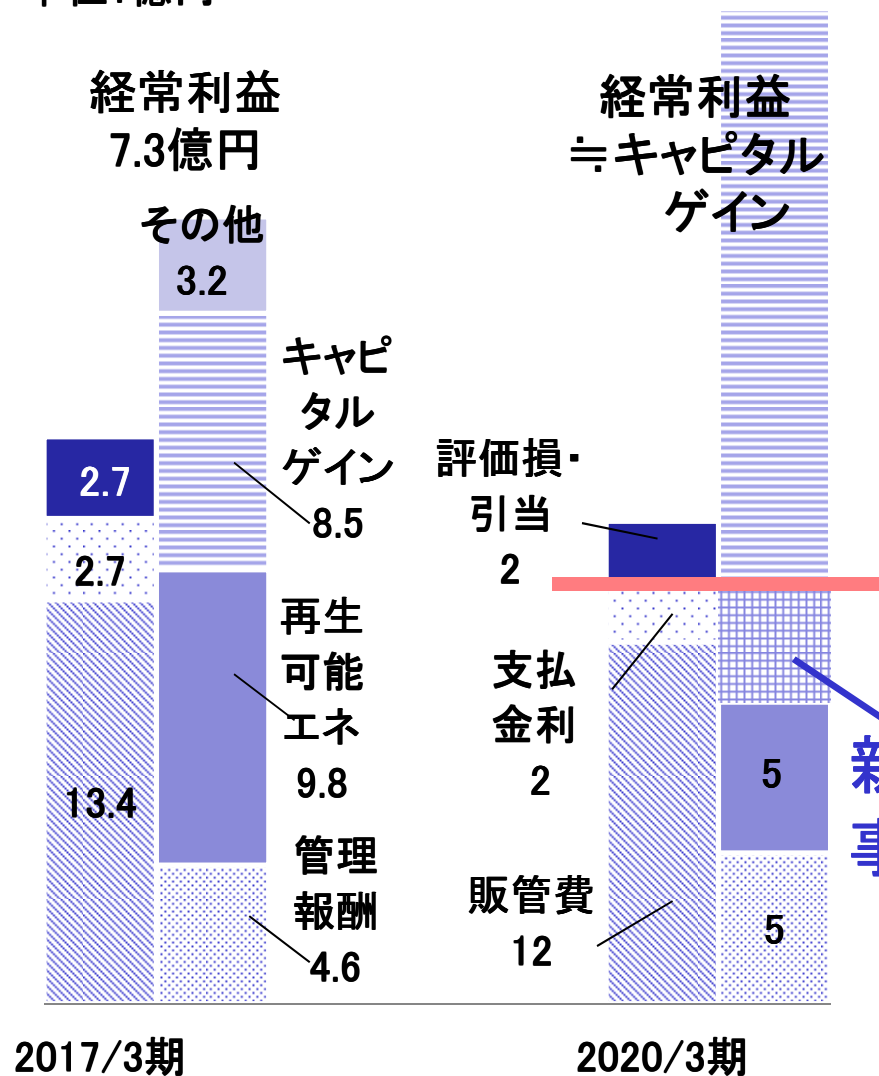
3. 今後の経営方針



収益構造(従来連結基準).....	P33
財務バランス(従来連結基準).....	P34

3. 今後の経営方針 - 収益構造

単位: 億円



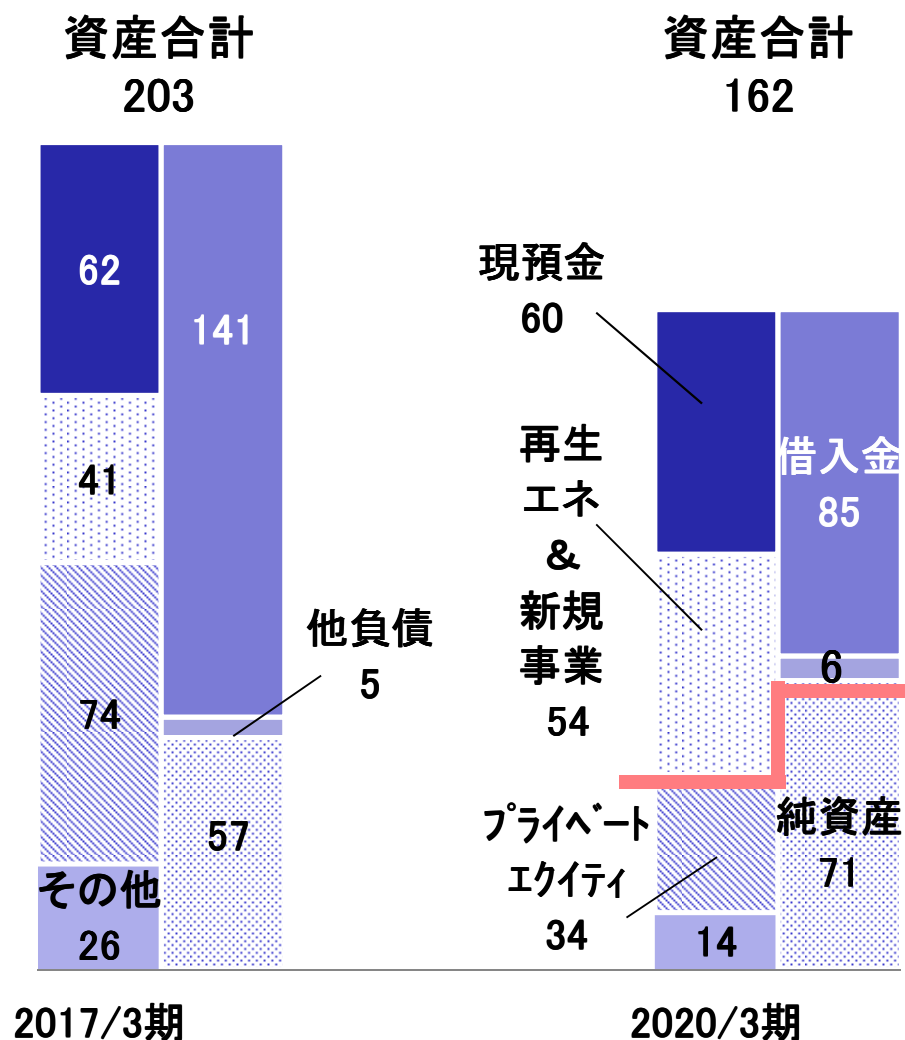
– 安定収益で販管費と支払金利をカバー：
⇒ 新規事業による安定収益拡大を目指す

– キャピタルゲイン拡大：
⇒ プライベートエクイティ事業の利益をさらに拡大させる

3. 今後の経営方針 - 財務バランス



単位: 億円



– プライベートエクイティ
投資の当社持分は
純資産の範囲に収める

– 借入金は流動性高い
再生可能エネルギーや
新規事業の資産で運用

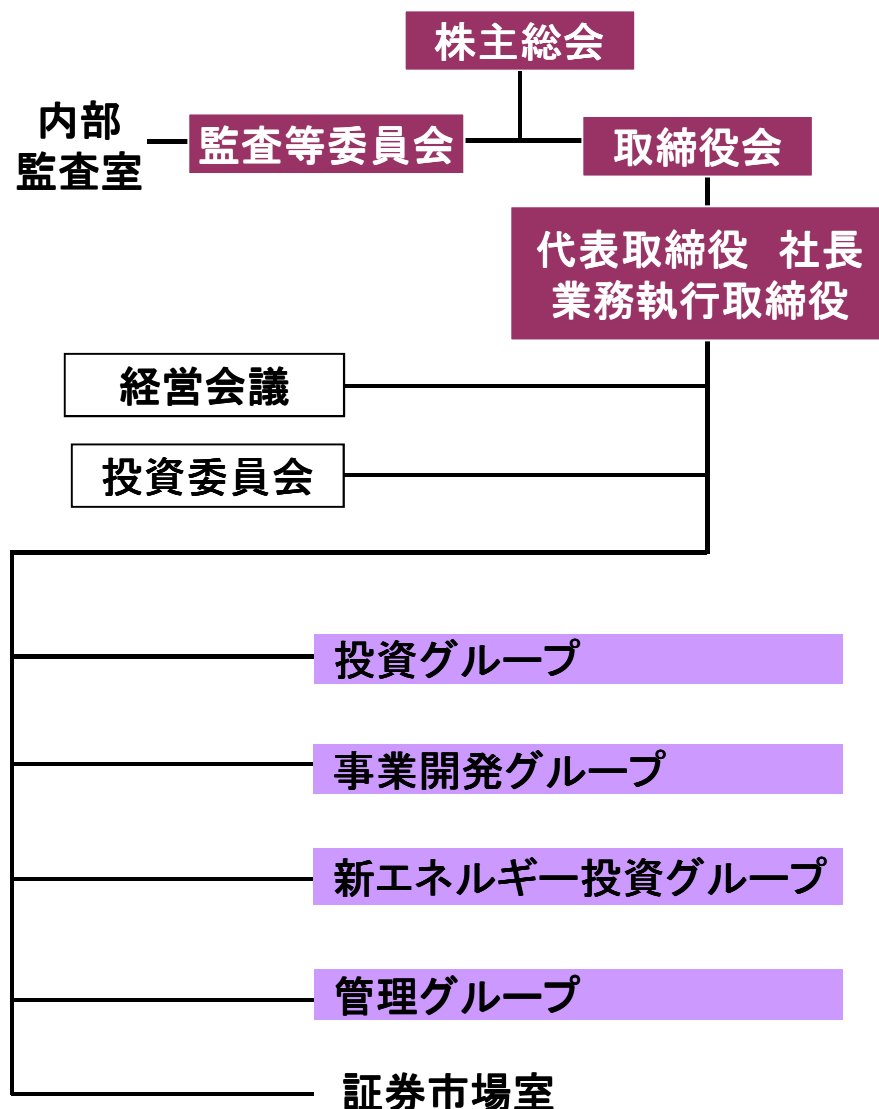
– デット・エクイティレシオ
1倍に向けて借入金削減
と利益による資本増強を
進める

4. 2018年3月期の計画



組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・	P36
行動計画・・・・・・・・・・・・・・・・	P37
業績見込値(従来連結基準)・・・・・・	P38

4. 2018年3月期の計画 - 組織体制



<6月の株主総会承認後>

- ガバナンス強化を目的として
取締役会議長を務める
社外取締役を招聘
- 再建期を抜け収益拡大期に
転換したことを契機に
新社長を登用

<4月1日付>

- 国内外の投資活動を統合
- 事業開発グループを新設
First Easternグループとの
協業推進、新規事業の立案
などを担当

4. 2018年3月期の計画 - 行動計画



国内PE投資向け ファンド設立

- ・ 大手金融機関とのベンチャー投資向けファンド、事業承継型バイアウト投資向けファンドの設立
- ・ グロース投資向けターゲットファンドの設立

国内PE投資の 投資領域拡大

- ・ ベンチャー投資を基幹領域として、スモールキャップ企業へのグロース投資、事業承継型バイアウト投資に領域を拡大

高採算の再生可能 エネルギープロジェクトへの投資

- ・ FIT価格の高いプロジェクトのセカンダリー案件を獲得
- ・ 20円台のFIT価格でも利益の出る低コストの開発手法を研究

First Easternとの 協業推進

- ・ 推進のための部署を新設
- ・ 共同ファンド設立を中心に幅広く協業方法を協議

売却益の獲得

- ・ 3期連続黒字化に向けて売却益を獲得

4. 2018年3月期の計画 - 業績見込値(従来連結基準)



従来連結基準	2017/3期実績		2018/3期見込		増減率
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
営業収益	3,926	100%	4,700	100%	20%
うち ファンド報酬	466	12%	400	9%	△14%
うち 売却高	2,275	58%	3,400	72%	49%
うち 再生エネルギー	981	25%	700	15%	△29%
うち その他	203	5%	200	4%	△1%
営業原価	1,750	45%	2,650	56%	51%
うち 売却原価	1,423	36%	2,200	47%	55%
うち 評価損・引当	274	7%	400	9%	46%
うち その他	52	1%	50	1%	△5%
営業総利益	2,176	55%	2,050	44%	△6%
販管費	1,339	34%	1,300	28%	△3%
営業利益	836	21%	750	16%	△10%
経常利益	726	19%	550	12%	△24%
親会社に帰属する 当期純利益	553	14%	470	10%	△15%

3期連続の 黒字を 目指す

①
②
③

④

- ①成功報酬1億円を含む
- ②未上場株式の売却中心
- ③売電収入に加え、
7件22MWの売却見込む
(当社出資持分16MW)
- ④営業外収益や特別損益
は見込まず、税金費用を
見込む

業績見込値は現時点で当社が一定の前提条件に基づいて算定したものであり、その達成を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。

5. 参考情報



主要データの推移・・・・・・・・・・・・・・・・	P40
営業収益・営業総利益内訳・・・・・・・・	P41
上場実績・・・・・・・・・・・・・・・・	P42
投資残高内訳・・・・・・・・・・・・・・・・	P43
ファンド連結基準と従来連結基準の差異・・	P44
JAICの強み・・・・・・・・・・・・・・・・	P45
収益構造・・・・・・・・・・・・・・・・	P46
会社概要・・・・・・・・・・・・・・・・	P48

主要データの推移



・業績、財務状況（従来連結基準）

(単位: 百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率
業績											
営業収益	20,051	8,494	7,414	10,979	5,396	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	△3%
営業総利益	10,879	△19,988	△5,599	3,692	396	176	2,474	882	1,554	2,176	40%
販売費及び一般管理費	5,328	7,698	3,787	2,399	2,274	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	△9%
営業利益	5,550	△27,686	△9,386	1,293	△1,878	△1,823	852	△550	82	836	913%
経常利益	4,796	△28,950	△10,334	175	△2,477	△2,612	374	△610	612	726	19%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,049	△34,845	△10,903	△2,044	△2,885	△2,575	462	△850	597	553	△7%
財務状況											
現預金	16,490	11,387	11,940	12,950	10,513	8,550	10,428	9,437	8,202	6,213	△24%
営業投資有価証券 (再生可能エネルギー、他)	-	-	-	-	-	-	608	1,337	3,722	4,082	10%
引当後 営業投資有価証券 (プライベートエイクイティ)	62,878	72,733	30,774	19,898	16,462	15,452	12,380	10,364	8,226	7,356	△11%
借入金・社債・予約権付社債	39,273	45,971	40,563	32,327	28,275	25,433	24,010	20,193	16,910	14,128	△16%
自己資本	55,003	14,142	5,378	4,376	1,969	1,565	2,573	3,373	4,976	5,686	14%

・ファンドの状況、投資の状況

(単位: 百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率
ファンド設立・資産増加額	11,257	11,626	9,883	1,330	11,926	4,548	-	-	5,201	500	△90%
ファンド運用残高	108,800	108,502	108,445	85,755	85,833	85,873	50,888	43,897	39,335	28,753	△27%
うち 当社グループ出資額									14,004	9,427	△33%
投資実行額	23,950	15,046	4,002	3,204	4,545	4,746	4,189	2,728	4,093	4,315	5%
投資残高	89,497	76,472	63,076	42,268	36,706	33,886	25,862	19,722	18,783	16,558	△12%

営業収益・営業総利益 内訳 (従来連結基準)

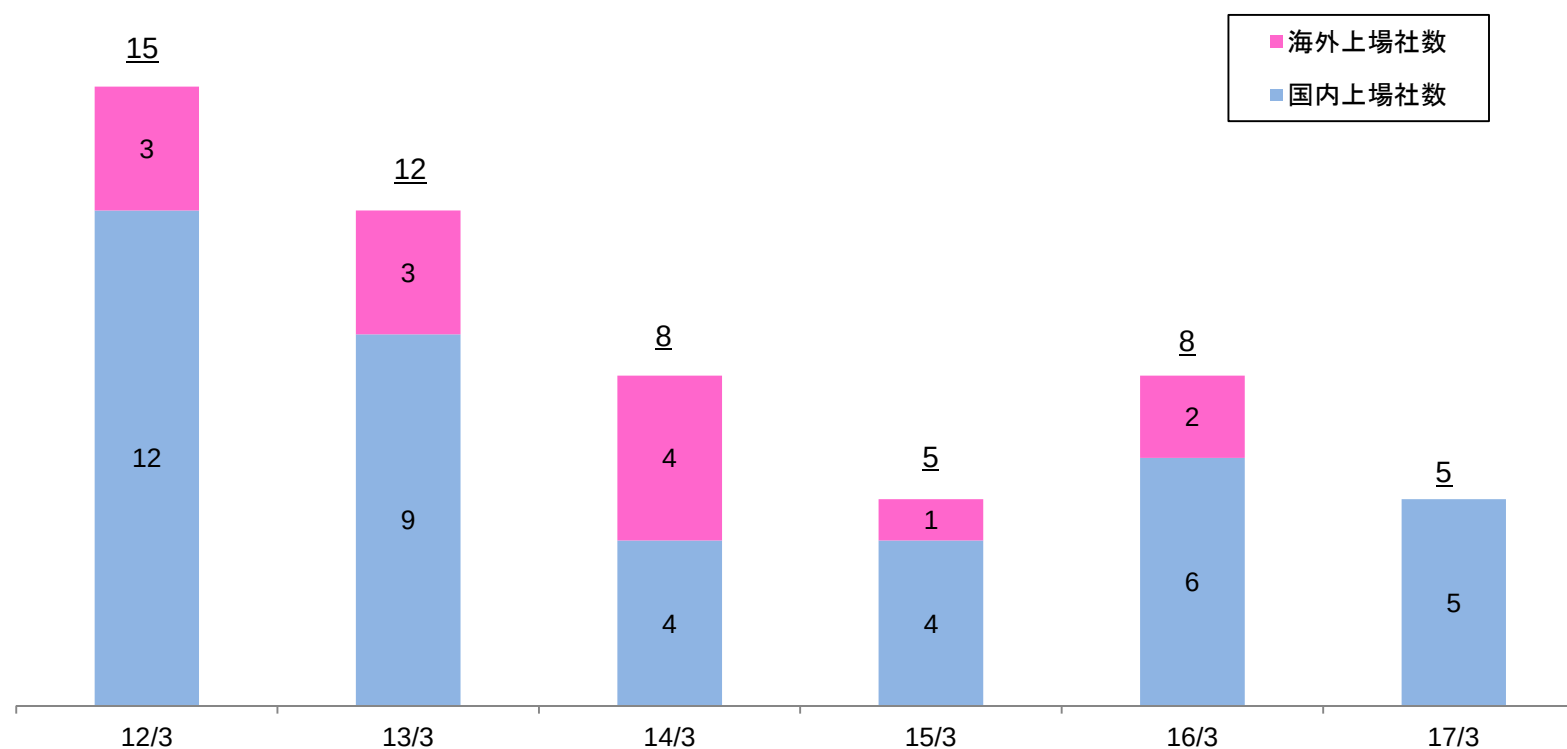


(単位: 百万円)		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	増減率 (%)
1.	投資事業組合等管理業務											
	管理運営報酬等	1,501	1,559	1,294	1,088	966	815	733	571	441	364	△17%
	成功報酬	1,006	268	461	295	84	37	132	63	288	101	△65%
	営業収益	2,508	1,827	1,755	1,383	1,050	852	865	634	729	466	△36%
	営業原価	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	営業総利益	2,506	1,827	1,755	1,383	1,050	852	865	634	729	466	△36%
2.	投資業務											
	営業投資有価証券売却高	14,547	5,203	4,700	8,584	3,938	2,411	4,656	3,651	2,954	2,275	△23%
	利息・配当収入	746	606	430	595	181	95	121	93	49	30	△38%
	組合持分利益等	1,241	207	242	180	63	194	357	100	295	1,128	281%
	営業収益	16,535	6,018	5,373	9,360	4,183	2,701	5,134	3,844	3,300	3,434	4%
	営業投資有価証券売却原価/投資原価	5,960	5,022	4,450	6,680	3,412	1,385	2,133	1,767	1,863	1,423	△24%
	営業投資有価証券売却原価/評価損	1,665	15,069	2,829	627	394	174	45	1,233	10	159	1380%
	投資損失引当金繰入額	467	7,615	5,151	△296	978	1,863	1,435	471	559	115	△79%
	組合持分損失等	540	509	398	191	178	158	52	168	47	46	△2%
	営業原価	8,632	28,217	12,829	7,203	4,964	3,582	3,666	3,640	2,481	1,744	△30%
	営業総利益	7,902	△22,199	△7,456	2,157	△780	△880	1,468	203	818	1,690	106%
3.	その他											
	営業収益	1,004	649	285	234	162	229	154	53	13	25	96%
	営業原価	537	266	183	83	35	25	15	9	7	6	△14%
	営業総利益	467	382	101	151	126	204	139	44	5	19	227%
合計												
	連結営業収益	20,051	8,494	7,414	10,979	5,396	3,784	6,155	4,532	4,043	3,926	△3%
	連結営業原価	9,171	28,483	13,013	7,286	4,999	3,607	3,681	3,650	2,488	1,750	△30%
	連結営業総利益	10,879	△19,988	△5,599	3,692	396	176	2,474	882	1,554	2,176	40%
	販売費及び一般管理費	5,328	7,698	3,787	2,399	2,274	2,000	1,621	1,433	1,472	1,339	△9%
	営業利益	5,550	△27,686	△9,386	1,293	△1,878	△1,823	852	△550	82	836	913%
	経常利益	4,796	△28,950	△10,334	175	△2,477	△2,612	374	△610	612	726	19%
	親会社株主に帰属する当期純利益	3,049	△34,845	△10,903	△2,044	△2,885	△2,575	462	△850	597	553	△7%

上場実績



上場社数(単位:社)



初値ベース投資倍率

(単位:倍)

	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3
国内	1.4	1.5	15.2	4.9	1.7	5.6
海外	1.9	3.4	2.2	1.8	—	—

・新規上場件数には、14/3は2社、15/3は2社、16/3は2社、17/3は1社の株式交換等による上場株式取得分を含めております。

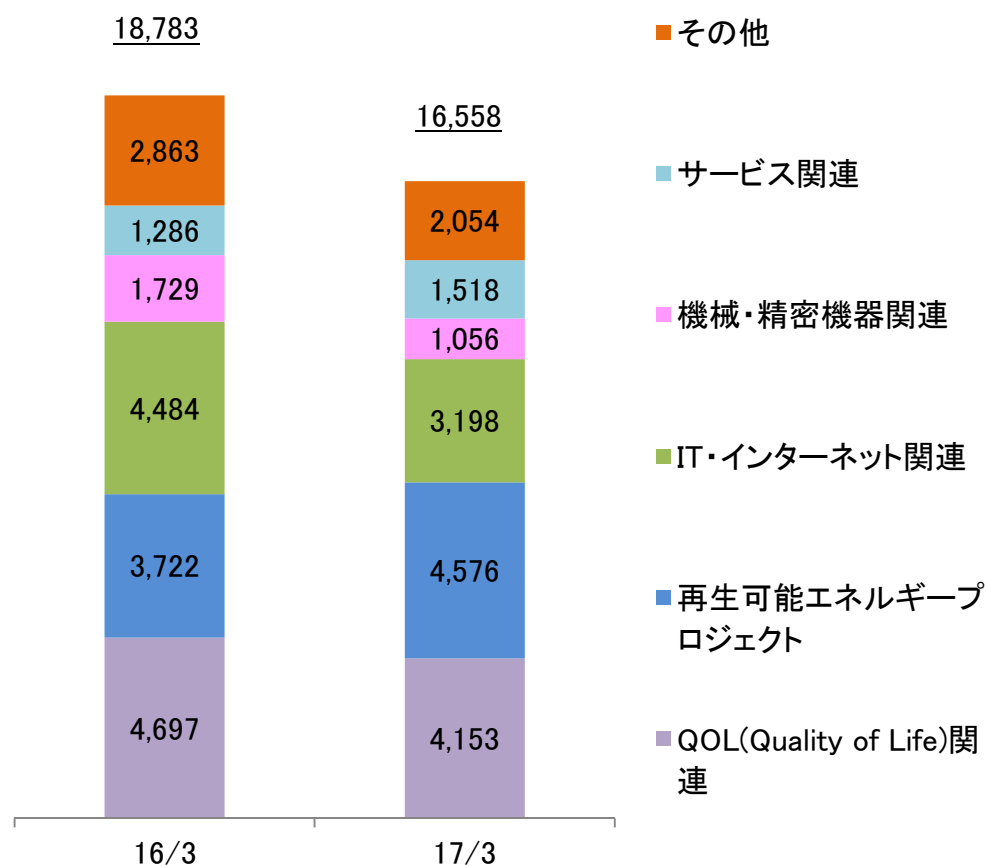
なお、初値倍率の計算には株式交換による上場株式取得分は含めておりません。平均初値倍率＝初値時価総額の合計／取得額の合計

投資残高内訳



◆業種別内訳

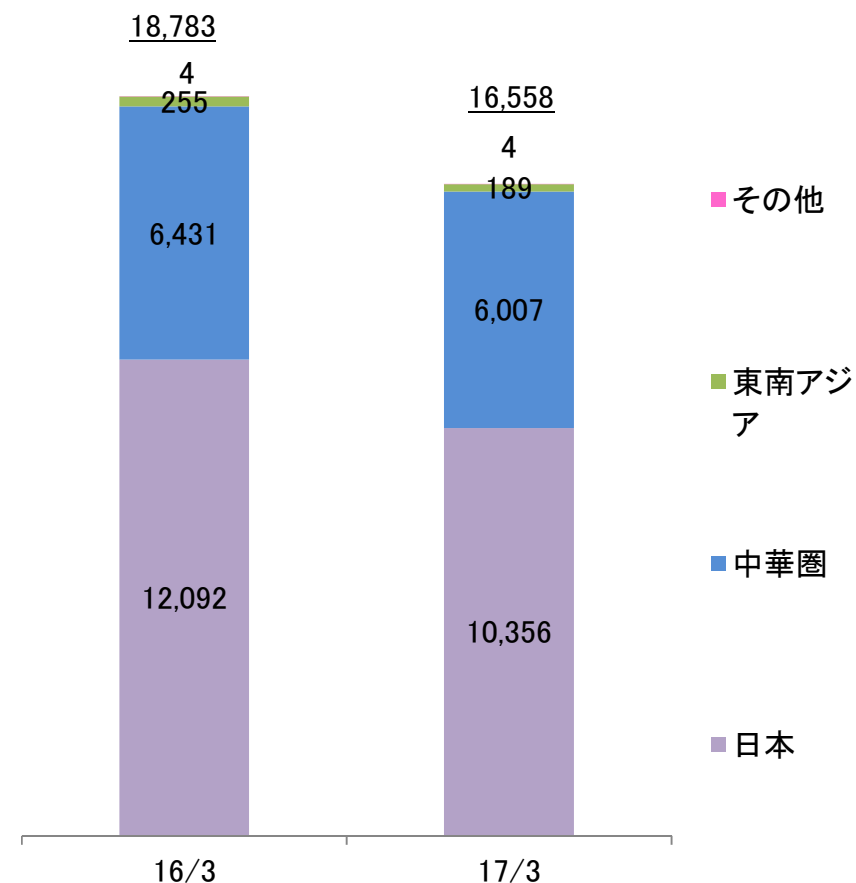
(単位:百万円)



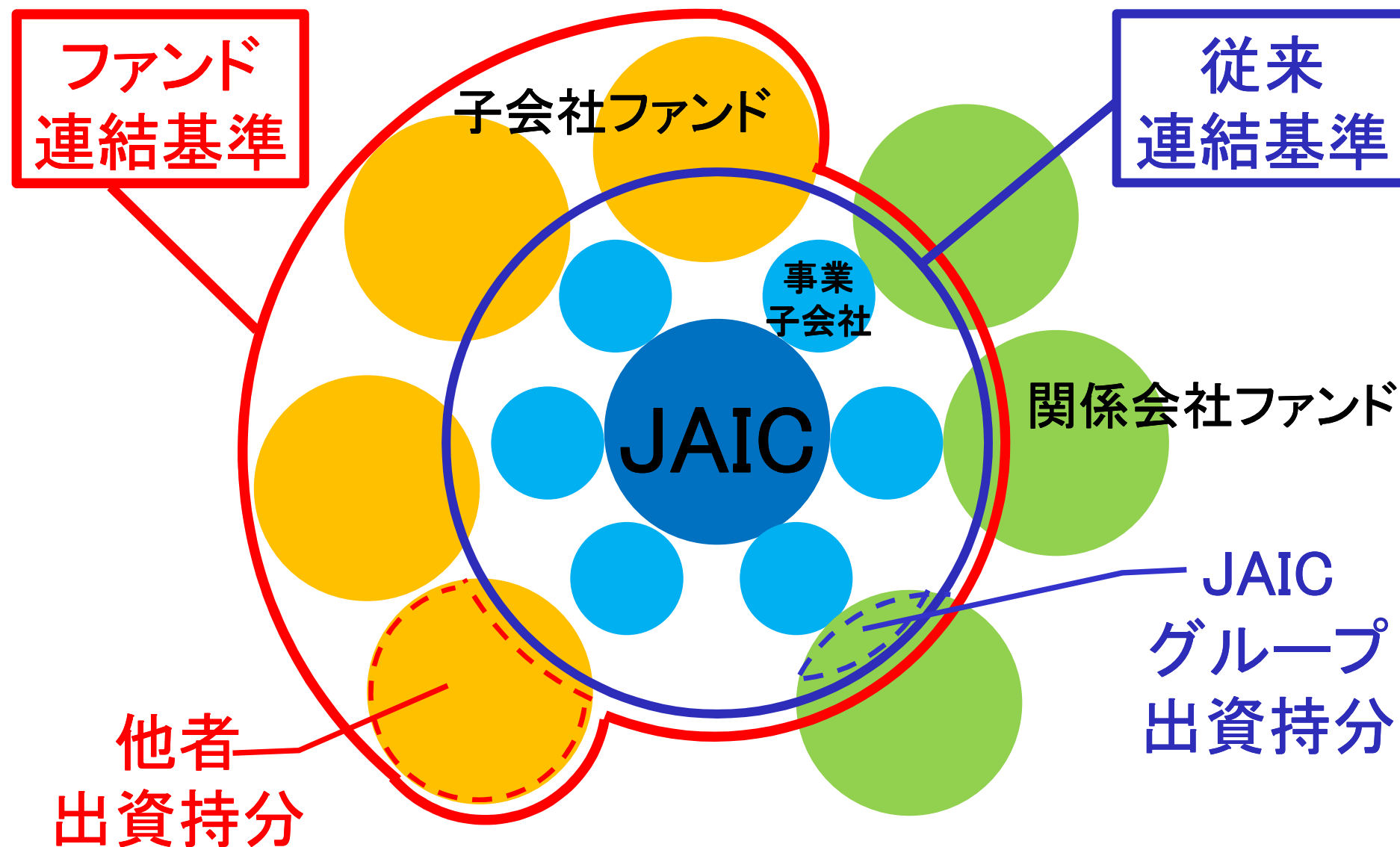
・他社ファンドへの出資持分額は含んでおりません。

◆地域別内訳

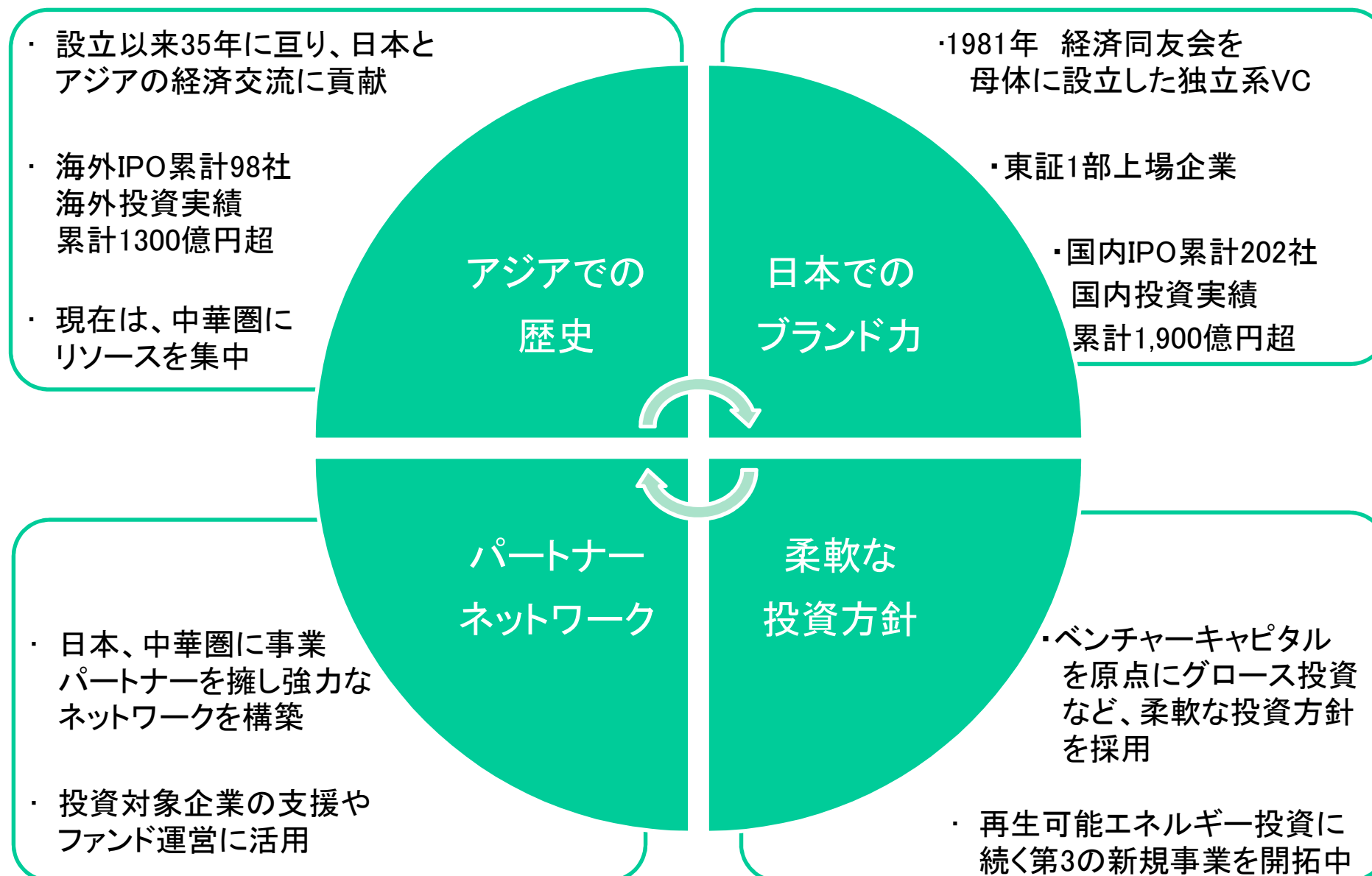
(単位:百万円)



ファンド連結基準と従来連結基準の差異(概念図)



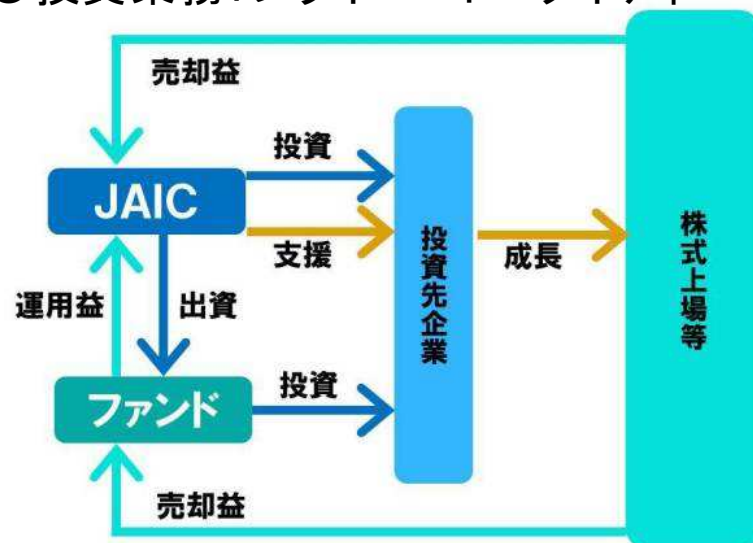
JAICの強み



収益構造



●投資業務:プライベートエクイティ

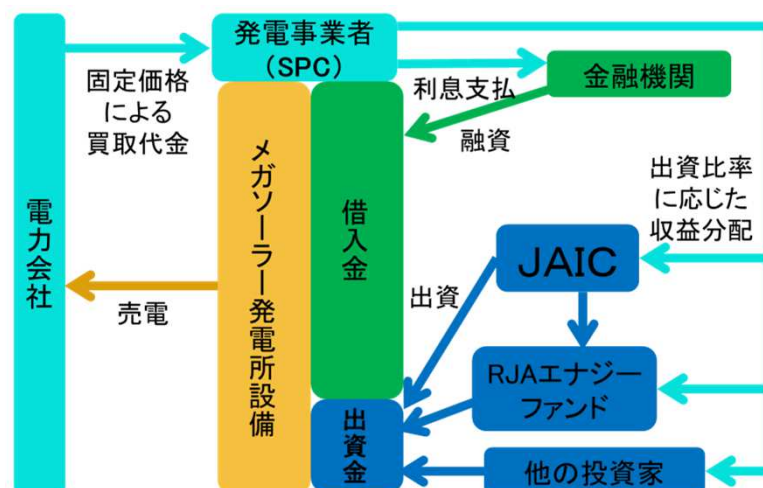


投資資金は、

- ・JAIC自身の手元資金からの拠出
 - ・ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金
- の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務:再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・JAIC、ファンド、他の投資家の出資金
 - ・金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

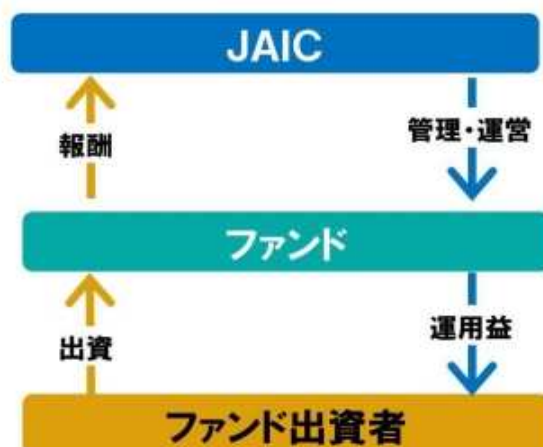
発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます

JAIC等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

収益構造



●投資事業組合等(ファンド)の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・経常的な管理・運営に対して受領する
管理報酬
- ・ファンドのパフォーマンスに応じて受領
する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要(2017年3月末現在)



商号	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC												
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地												
設立年月日	1981年7月10日												
資本金	5,426百万円												
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部												
従業員数	単体23名／連結44名												
事業内容	・投資業務 ・投資事業組合等の管理業務 ・その他関連業務												
役員	<table><tr><td>代表取締役</td><td>細窪 政</td></tr><tr><td>常務取締役</td><td>下村 哲朗</td></tr><tr><td>取締役</td><td>志村 誠一郎</td></tr><tr><td>監査等委員長</td><td>大森 和徳</td></tr><tr><td>監査等委員</td><td>安川 均（社外取締役）</td></tr><tr><td>監査等委員</td><td>沼波 正（社外取締役）</td></tr></table>	代表取締役	細窪 政	常務取締役	下村 哲朗	取締役	志村 誠一郎	監査等委員長	大森 和徳	監査等委員	安川 均（社外取締役）	監査等委員	沼波 正（社外取締役）
代表取締役	細窪 政												
常務取締役	下村 哲朗												
取締役	志村 誠一郎												
監査等委員長	大森 和徳												
監査等委員	安川 均（社外取締役）												
監査等委員	沼波 正（社外取締役）												

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 Tel(03)3259-8518 Fax(03)3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

IRに関するお問合せ先:

常務取締役 下村哲朗

管理グループ 岸本・丸山

IRに関するお問合せアドレス: ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意)本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の数値は全て連結ベース(ファンド連結基準・従来連結基準、ともにそれぞれ記載)にて表示しております。